

第3回 駒沢川流域協議会 要旨

日時：平成18年3月7日（火）午後7時から午後7時45分

場所：辰野町 小野農民研修センター

出席者：会員26名（H18.3.7現在会員数48名）

議事内容

- | | |
|---------------------|--------|
| 1 第2回議事録報告 | 別添：資料1 |
| 2 流量観測結果報告 | 別添：資料2 |
| 3 上伊那地方事務所林務課関係事業報告 | 別添：資料3 |
| 4 高水協議会経過報告 | 別添：資料4 |
| 5 意見交換 | |

主な意見・質問及び回答

【1. 第2回議事録報告】

前回協議会での質問事項で、回答が保留となっていた事項について回答した。

- ・駒沢川上流部の断面を教えて欲しい。
（上流部、合流点上、高橋川の断面を提示した。：資料1 - 1）
- ・平成16年度駒沢川災害復旧工事について
（伊那建所管の6箇所の工事は完了していることを報告した。：資料1 - 2）
（辰野町は災害4箇所が完了したことを報告した。上伊那地方事務所林務課より台風災害に関連した治山事業1箇所は継続中であることを報告した。）
- ・特別措置法で駒沢流域を救済できるような新水源確保のための法案を作って欲しい。
（伊那保健所回答：県の水環境課を通して知事には伝わっているが、水源確保については従来の方針と変わらないことを報告した。）
- ・駒沢川流域での県の林務課の事業の内容を教えて欲しい。
（議事3において資料3で県営公益機能増進事業について報告した。）
- ・16年度以前の、連続雨量のデータがあれば教えて欲しい。
（データを示し説明した。：資料1 - 3）
- ・誰が見ても水位が分かる標柱のようなものを設置できないか。
（伊那建設事務所回答：平成18年度の予算の中で地域の皆様と相談しながら設置を検討したい。）

今回出された質問と回答

- ・平成16年度の駒沢川災害復旧工事は、超過確率流量を設定して行われているのか教えて欲しい。
（伊那建設事務所：原型復旧で行っている。）

【2. 流量観測結果報告】

- ・ 計画で駒沢川の流域とされているが、一部が高橋川に流れ込んでいるところがある。降雨時に雨水がどこに流れているか目視調査しているか。
(伊那建設事務所：目視調査は行っていない。ご意見を踏まえて今後の調査方針を検討したい。)
- ・ 目視調査を行う時は、立会いたいののでよろしくお願ひしたい。
(伊那建設事務所：了解した。)

【3. 上伊那地方事務所林務課関係事業報告】

- ・ 間伐について、面積と事業費の関係を教えて欲しい。
(上伊那地方事務所林務課：間伐する木の本数によって金額が決められているため、現場の状況で実際に切る木の本数で事業費が決まってくる。)

【4. 高水協議会経過報告】

意見・質問はとくになし

【5. 意見交換】

- ・ 5年間の流量観測をした後、どういうことをどれだけやるのか、流域協議会の具体的なプロセスが見えてこない。行政サイドで今後の進め方や具体的なテーマへの取組みといった方向性があれば教えていただきたい。
(伊那建設事務所：5年間流量観測を行い、その結果を基に方向性について考えていきたい。)